

## 森を知り、木を知る

協会では、10月11日に開催された「第34回 木になるフェスティバル」のイベントとして、「森を知り、木を知る」を行いました（写真1）。これは、森、木材、木造住宅に関する問題に答えてもらうクイズです。問題の一例を表1に示します。木と暮らしの情報館内に、問題に関連するパネル（図1）を展示し、説明員も配置しましたが、問題文、展示パネルの説明文がこなれておらず、子ども達が回答に苦戦する様子が見受けられ、次回以降の反省点となりました。

これに先立つ10月7日には、旭川市役所が開催した「人 to 木 スタディツアー2025」に協力し、旭川工業高等学校建築科1年生に対して、同様の催しを行いました（写真2、表2）。こちらの方はおおむね順調に正解を出していました。



図1 展示パネルの一例

表1 木になるフェスティバル 問題の一例

- ・北海道の森林面積は日本全体の森林面積の何%になるでしょうか。
- ・北海道の森に育っている針葉樹を、3つ書いてください。
- ・木とアルミにふれたとき、木のほうがあたたかく感じられます。それは、なぜでしょうか。
- ・椅子のひじかけに、曲がった木が使われていることがあります。木は、どのようにしたら曲げることができるでしょうか。

\*：当日は、漢字にはルビを振っていますがここでは省略しています

表2 旭川工業高等学校建築科生徒向け 問題の一例

- ・森林には、「水をためる、土砂が流れ出すことを防ぐ」などの働き＝公益的機能＝があります。この働きを金額に換算すると、のくらいになるでしょうか。
- ・この建物（木と暮らしの情報館）には、強度に優れた木材が使われています。その木の種類（樹種）は、なんのでしょうか。
- ・木造の建物は、鉄骨や鉄筋コンクリート造の建物に比べて二酸化炭素をたくさん蓄える働きがあります。一戸建住宅の場合、木造と鉄骨造とではどのくらい違うのでしょうか。
- ・「木」「木の名前」「森」が入っている言葉（たとえば、「猿も木から落ちる」）を一つ書いてください。そして、その意味を書いてください。



写真2 人 to 木 スタディツアー2025



写真1 森を知り、木を知る

事業の実施にあたっては、  
（公社）北海道森と緑の会から、  
「緑と水の森林ファンド」助成  
をいただきました。